

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-190	高等学校	外国語科	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	C I 050-901	CROSSROADS ENGLISH COMMUNICATION I Revised		

1. 編修の基本方針

教育基本法、学校教育法並びに学習指導要領に則って、外国語を学ぶことを通じて、豊かな人間性と創造性、自律性を備えた人間として、我が国の形成・発展に貢献できるとともに、国際社会の平和と発展に寄与できる人材を養うための教科書を目指し、下記のような点に配慮した。

- ◎国際社会の一員として幅広い知識と教養を身に付けるために、生徒にとって身近な話題から、社会的・国際的な視点につながるような題材を教材とした。
- ◎英語という言語を使って考えたり自分の意見を人に伝えたりするための言語活動をバランスよく取り入れた。
- ◎生徒が主体的、自律的な学習者となり、生涯にわたり外国語学習を続けられるために必要な英語の知識・技能や学習法のヒント等をコラム等で示した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
Unit 1 Living Abroad	日本が異なる文化背景を持つ人からはどのように見えるかを理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp. 12-23
Unit 2 Connecting People Across Cultures	国境を越えた文化交流について理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp. 24-35
Unit 3 Studying Foreign Languages in the Age of AI	AIの時代において外国語を学習する意味を考えることで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp. 38-49
Supplementary Reading 1 The Belgian Soccer Team	ベルギーの言語事情と異なる言語を使う人々にとっての外国語の役割を理解することで、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp. 50-55
Unit 4 Problems in the Oceans	海洋環境や海洋資源の現状を知り、世界の海が抱える問題を理解してその解決策を考えることで、生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養うことを目指した。(第4号)	pp. 56-67
Unit 5 Alex's Lemonade Stand	ボランティアや社会貢献の大切さを理解することで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第3号)	pp. 70-81

Unit 6 Learning from the Okinawans	長く健康に生きるためにはどのようなことが必要かを理解することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp. 82-93
Unit 7 Dick Bruna and Miffy	芸術家が作品に込めた意図やメッセージについて理解することで、個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養うことを目指した。(第2号)	pp. 96-107
Supplementary Reading 2 The Mystery of the Lake	伝説の生き物の正体を探る科学研究について理解することで、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養い、豊かな情操と道徳心を培うとともに、健やかな身体を養うことを目指した。(第1号)	pp. 108-113
Unit 8 Beyond Borders	国境を隔てた2国によるプロジェクトについて理解することで、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp. 114-125
Unit 9 The Vancouver Asahi: The Road to Acceptance	第二次世界大戦前に活躍した日系人野球チームの地元民との交流と、日系移民の苦難の歴史を学ぶことにより、伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第5号)	pp. 128-141
Unit 10 Paddington Bear and the Refugee Story	難民と彼らを救った人々の行動について理解することで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第3号)	pp. 144-157
Supplementary Reading 3 Aretha Franklin: The Queen of Soul	アメリカの歌手の生涯と社会の動きなどとの関わりを理解することで、正義と責任、男女の平等、自他の敬愛と協力を重んずるとともに、公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養うことを目指した。(第3号)	pp. 158-163

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

学校教育法第51条に掲げられた目標を達成するため、実用的な英語運用能力の育成と、生涯にわたって学習を継続する自律的学習者育成を目指し、下記のような点に配慮した。

- ◎生徒の学習意欲を高めるため、学校生活や家庭生活に関連した身近なテーマの題材を多く取り入れた。
- ◎4技能5領域を統合した活動を工夫し、そのバランスのよい育成を目指した。
- ◎文法はコミュニケーションを支えるものという立場に立ち、実際に英語を使用する場面を多く設定した。
- ◎写真やイラスト、図表等を適切に使い、学びやすさに配慮した。
- ◎英語で授業が進めやすいよう、指示文はすべて英語とした。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-190	高等学校	外国語	英語コミュニケーション I	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
50 大修館	C I 050-901	CROSSROADS ENGLISH COMMUNICATION I Revised		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 4技能5領域を一体的に育成する。

- ・ 日常のおよび社会的な話題について、聞いたこと、読んだことの概要や要点、話し手や書き手の意図を把握することができるように、確認問題を充実させた。
- ・ 読んだことの内容を整理し、自分のことばで伝えることができるよう、ノートテイキングやリテリング（再話）の活動を充実させた。
- ・ 聞いたり読んだりした内容やテーマについて、自分はどう考えるか・どう思うかを話し合う、発表する、書くなどの活動を充実させた。
- ・ Unitのテーマに関するトピックについて、調べて発表する活動を盛り込んだ。

(2) 段階的に学べるように配慮している。

- ・ 読む英文の語数は、Unit 1・2は約300語、Unit 3-8は500～600語程度、Unit 9・10は約900語と、段階を追って長い英文を読めるように設定した。聞く英文の語数も、はじめは約120語、後半は約170語というように、少しずつ語数が増えていくようにした。
- ・ 前半のUnitで扱われている文法事項や文構造は中学で既習のものとし、中学英語から高校英語への移行が無理のないようにした。

(3) コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識させる。

- ・ 文法はコミュニケーションを支えるものであることを踏まえ、文法事項・文構造の解説や練習問題では、その形が使われる目的や場面、状況を理解させる工夫をした。
- ・ 話すことや書くことの言語活動において、コミュニケーションを行う目的や場面、状況を意識した活動を用意した。

(4) 指導しやすく、学びやすい教科書。

- ・ 生徒の学習意欲を高めるため、身近な話題を多く取り上げ、そこから社会的な視点につながるよう工夫した。
- ・ Unit内のそれぞれの言語活動が有機的なつながりを持つよう工夫した。
- ・ 活動のステップを明示化し、具体例を示すなど、活動を行う上での支援を多く与える工夫をした。
- ・ 写真やイラストを多く配置し、視覚的な面からも内容理解が容易になるよう工夫した。
- ・ 二次元コード（以下、QRコード）から音声やフラッシュカード、音読シートなどを利用することができ、主体的、自律的な学習が可能になるよう工夫した。

■各Unitの構成■

(1) 導入ページ

- ・ Goals of This Unit : Unitの目標を確認する。
- ・ Warm-up : 写真も見ながら、Unitのテーマについてやり取りをする。

(2) Listen Up

- ・ 120語～180語程度のまとまった量の対話や発表を聞き取り、その概要や詳細をつかむ。
- ・ 内容を確認する設問は選択式とし、生徒の負担を軽減している。また、設問の意図がはっきりするよう、**Gist** (概要)、**Detail** (詳細)、**Inference** (推測) のアイコンを付している。
- ・ QRコードから音声を利用することができる。

(3) Keywords

- ・ 次ページ以降で読む英文のキーワードを確認し、英文の内容を推測する。
- ・ キーワードの意味を押さえるための簡単な設問を用意している。

(4) Reading for General Ideas

- ・ 英文全体が見開きで掲載してあり、ざっと通読して英文の概要をつかむ。
- ・ **Gist** (概要) について問う設問に答えることで、英文の概要がつかめているかを確認する。
- ・ Unit 1・2は約300語、Unit 3-8は500～600語程度、Unit 9・10は約900語というように、段階を追って長い英文を読めるように設定してある。

(5) Reading for Details

- ・ 英文を詳細もつかみながら読む。
- ・ 英文は現代の標準的な英語を基調とし、ほぼすべてをネイティブ・スピーカーが書き下ろした。
- ・ インターネット上のやり取りやインタビューなど、テキストタイプにバラエティを持たせた。
- ・ Language Focusで取り上げる文法事項・文構造を「LF」マークで示した。
- ・ QRコードから音声を利用することができる。
- ・ 側注 : 新出単語とその発音、重要表現、注がまとめられている。新出単語と重要表現はQRコードから音声とフラッシュカードを利用することができる。
- ・ Comprehension : 英文の主に細部の理解を確認する。設問は選択式とし、生徒の負担を軽減している。また、設問の意図がはっきりするよう、**Detail** (詳細)、**Inference** (推測) 等のアイコンを付している。
- ・ Opinions : 英文に関連したトピックについて、質問に答えて自分の意見などを伝え合う。

(6) Notetaking

- ・ まとめの図表の空欄をキーワード等で埋めて、英文の内容についての理解を確認する。

(7) Read-aloud

- ・ Summaryの前に行う音読にあたってのポイントがいくつか挙げられている。
- ・ **Pronunciation** は発音、**Stress** は強勢、**Intonation** は抑揚、**Pause** は休止についてのポイントを示している。後半には一部、**Consonant Cluster** (子音連鎖) のポイントもある。
- ・ QRコードから音声と音読シートを利用することができる。

(8) Summary

- ・ 読んだ英文の内容を自分の言葉でまとめて伝える (リテリング活動)。
- ・ ヒントとなる写真やキーワードが示してある。

(9) Application

- ・ 読んだ英文の内容を踏まえながら、具体的な場面において自分の考えなどを伝える。

(10) Language Focus

- ・ 文法事項や文構造のまとめ。形・意味・使用場面を示し、例文を付してある。
- ・ Your Turnでは、学んだ文法事項を使った活動を行う。当該の文法事項や文構造が使われる目的や場面、状況を理解させるためにそれらを設定し、単なるドリルにならないように配慮してある。

(11) Project

- ・Unitの内容に関連したテーマについて考え、調べ、自分の意見などを交えて発表するまとめの活動。

■Unit以外の教材・資料等■

(1) Warm-up Lesson

- ・新学期に使う導入教材として、4技能5領域をカバーした課題を用意した。
- ・QRコードからリスニング教材の音声を利用することができる。

(2) Supplementary Reading

- ・750～850語程度の読み物教材を3本用意した。
- ・Comprehension：内容を確認する設問は選択式とし、生徒の負担を軽減している。また、設問の意図がはっきりするよう、**Gist**（概要）、**Detail**（詳細）、**Inference**（推測）のアイコンを付している。
- ・QRコードから本文の音声と新出単語・重要表現の音声・フラッシュカードを利用することができる。

(3) Sound Training

- ・英語の音声の聞き取りや発音に関する説明と練習問題。
- ・QRコードから例と練習問題の音声を利用することができる。

(4) Study Skills

- ・英語の学習法に関するコラム。

(6) Useful Expressions

- ・言語活動でよく使う表現を例文とともにまとめた。

(8) Word List, Phrase List

- ・新出単語と重要表現のリスト。Word Listには小学校・中学校での既習語も示してある。

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容										該当箇所 (ページ)	配当 時数	
	(1)	(2)	(3)										
			①					②					
			ア	イ	ウ	エ	オ	カ	ア	イ			
Warm-up Lesson	ア、ウ	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア)	(ア)、(イ)、 (ウ)、(オ)	10-11	1						
Unit 1 Living Abroad	ア、イ、ウ、 エ(ア)(イ) d, f, g	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア)、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	12-23	7
Unit 2 Connecting People Across Cultures	ア、イ、ウ、 エ(ア)(イ)a, d, f	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(イ)、(ウ)、 (エ)、(オ)	24-35	7
Unit 3 Studying Foreign Languages in the Age of AI	ア、イ、ウ、 エ(ア)(イ) b, d, e, f	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア)、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	38-49	7
Supplementary Reading 1 The Belgian Soccer Team	ア、イ、ウ	ア	ウ		(イ)							50-55	3
Unit 4 Problems in the Oceans	ア、イ、ウ、 エ(ア)(イ) d, f, h	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア)、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	56-67	7
Unit 5 Alex's Lemonade Stand	ア、イ、ウ、 エ(ア)(イ)a, d, f, g	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(ア)、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	70-81	7						
Unit 6 Learning from the Okinawans	ア、イ、ウ、 エ(ア)(イ) d, f	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(イ)、(ウ)、 (エ)、(オ)	82-93	7
Unit 7 Dick Bruna and Miffy	ア、イ、ウ、 エ(ア)(イ) b, d, f, g	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(ア) (イ)	(イ)、(ウ)、 (エ)、(オ)	96-107	7						
Supplementary Reading 2 The Mystery of the Lake	ア、イ、ウ	ア	ウ		(イ)							108-113	3
Unit 8 Beyond Borders	ア、イ、ウ、 エ(ア)(イ) b, d, f	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(イ)	(イ)	(ア) (イ)	(イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア)、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	114-125	7
Unit 9 The Vancouver Asahi: The Road to Acceptance <i>e</i>	ア、イ、ウ、 エ(ア)(イ) d, f, h	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア)、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	128-141	7
Unit 10 Paddington Bear and the Refugee Story	ア、イ、ウ、 エ(ア)(イ)c, d, e, f	ア、 イ、ウ	イ～ カ	(イ)	(イ)	(ア) (イ)	(イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア) (イ)	(ア)、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	144-157	7
Supplementary Reading 3 Aretha Franklin: The Queen of Soul	ア、イ、ウ	ア	ウ		(イ)							158-163	3
Sound Training ①～⑤	ア											36, 68, 94, 126, 142	2.5
Study Skills ①～⑤	ア	ア、 イ、ウ										37, 69, 95, 127, 143	2.5
Useful Expressions	ウ										(ア)、(イ)、 (ウ)、(エ)、 (オ)	164-166	
Word List	ウ											167-175	
Phrase List	ウ											176	
												計	85

